



BAR 2.0 ALL-IN-ONE (MK2)



取扱説明書

重要な安全上の注意

使用前に電源電圧を確認する

JBL Bar 2.0 All-in-One (サウンドバー)は100~240ボルト、50/60HzのAC電流で使用できるように設計されています。本製品向け以外の電源電圧に接続すると、安全上の問題および火災の危険があり、ユニットに損傷を与える可能性があります。特定のモデルの電圧の必要性、またはお住まいの地域の電源電圧についてご質問がありましたら、壁のコンセントに本機をつなぐ前に販売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

延長コードは使用しないこと

危険を回避するため、ユニットに付属した電源コード以外は使用しないでください。本製品に延長コードを使用することは推奨できません。全ての電気器具と同様、電源コードをじゅうたんまたはカーペットの下に通したり、上に重いものを置かないでください。破損した電源コードが同梱されていた場合は認定サービスセンターがただちに工場の仕様に適合したものにお取替えします。

AC電源コードは丁寧に扱う

ACコンセントから電源コードを外す時は、常にプラグを持つようにしてください。絶対にコードを引っ張らないでください。長期間このスピーカーを使用しない場合、ACコンセントからプラグを外してください。

本体を分解しない

本製品内にお客様が修理できる箇所はございません。本体を開けると感電する可能性があります。製品に何らかの改造を行うと、お持ちの保証書が無効になります。水が誤って本機内に入った場合、ただちにAC電源から本体を取り外し認定のサービスセンターにご相談ください。

目次

重要な安全上の注意	2	9 ソフトウェアのアップデート	11
1 はじめに	4	10 製品の仕様	12
2 同梱品	5	11 トラブルシューティング	12
3 製品の概要	6	12 商標	13
3.1 操作とインジケーター	6		
3.2 コネクタ	6		
3.3 リモコン	6		
4 設置	7	13 オープンソースのライセンスに関する注意	14
4.1 台への設置	7		
4.2 スピーカーの壁への取り付け	7		
5 接続	8		
5.1 TVへの接続	8		
5.2 BLUETOOTH接続	8		
6 再生	9		
6.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ	9		
6.2 TVソースからの再生	9		
6.3 BLUETOOTHソースからの再生	10		
7 サウンドの設定	10		
8 工場出荷時の設定への復元	11		

1 はじめに

JBL Bar 2.0 All-in-One (サウンドバー)をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品は、並外れたサウンドを生み出すように設計された、ホームエンターテインメントシステムですこの取扱説明書では製品に関する説明と使用開始するまでの各手順をひとつひとつ説明しています。

本機はUSBコネクタを使ってソフトウェアをアップデートすることができます。この取扱説明書のソフトウェアのアップデートの項目を参照して製品のソフトウェアが最新バージョンになっていることをお確かめください。

設計と仕様は予告なしに変更されることがありますサウンドバーと、設置または操作について何かご質問がありましたら、販売店またはカスタマーサービスにご連絡いただくか、または当社のウェブサイト、www.jbl.comをご覧ください。

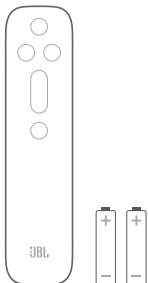
2 同梱品

注意して箱を開封し、以下の部品が同梱されていることをお確かめください。いずれかの部品が破損している、または見当たらない場合は、小売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

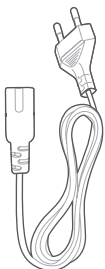
メインユニット



リモコン(単4乾電池2本付属)

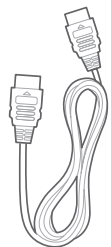


電源コード*

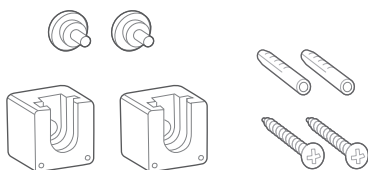


*電源コードの本数とプラグタイプは地域によって異なります。

HDMIケーブル



壁取り付け用キット

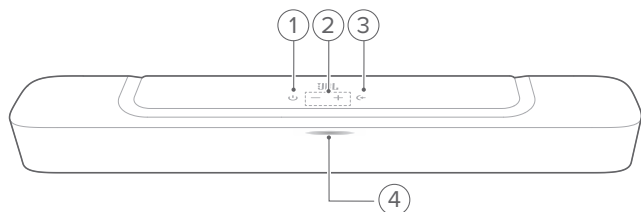


製品情報&壁取り付け用型紙



3 製品の概要

3.1 操作とインジケータ



1. 電源

- 電源をオンまたはスタンバイ状態にする

2. +/- (ボリューム)

- 音量の増減
- 押し続けると音量が増減していきます。
- 両方の音量ボタンを同時に押すと、スピーカーをミュートするか、またはミュート状態を解除します。

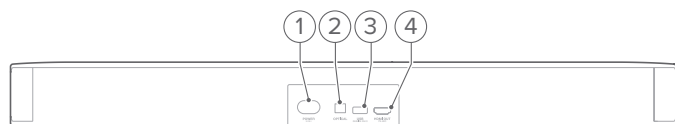
3. G (ソース)

- サウンドソースを選択します:**TV**(デフォルト)または**Bluetooth**

4. ステータスインジケータ

○	白点灯	TVソースを選択
●	青点灯	Bluetoothに接続済み
●	青点減	Bluetoothペアリング待ち受け中
—	白色でスクロール	音量の変更中
☉	白点減	音量が最大
☉	赤点減	ミュート中
●	赤点灯	スタンバイモードに入る

3.2 コネクタ



1. 電源

- 電源への接続

2. 光デジタル端子

- テレビや光デジタル出力を持つ機器の光デジタル出力と接続します

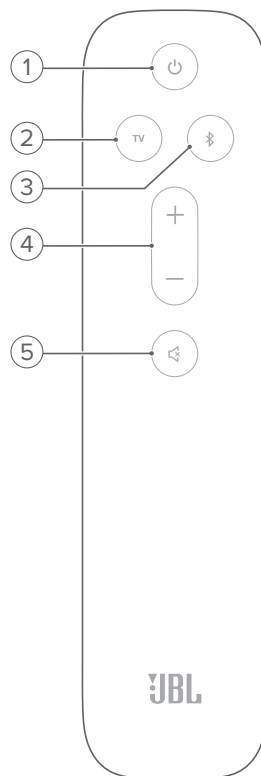
3. USB

- ソフトウェアアップデート用USBコネクタ
- 日本バージョンではUSBストレージから音楽を再生することはできません

4. HDMI出力(TV ARC)

- テレビのHDMI入力(ARC)に接続します

3.3 リモコン



1. 電源

- 電源をオンまたはスタンバイ状態にする

2. TV

- TVソースを選択します

3. Bluetooth

- Bluetoothソースを選択します
- 長押しすると、別のBluetooth対応デバイスと接続ができません

4. +/-

- 音量を増減します
- 押し続けると、連続的に増減します

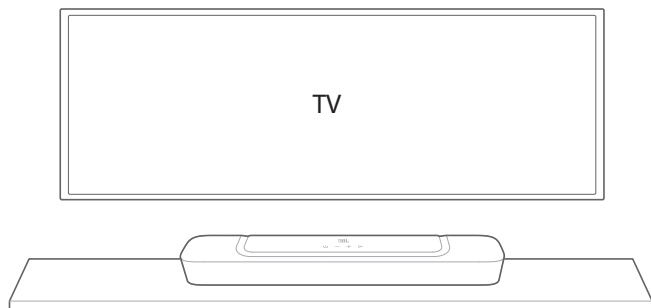
5. M (ミュート)

- ミュート/ミュート解除

4 設置

4.1 台への設置

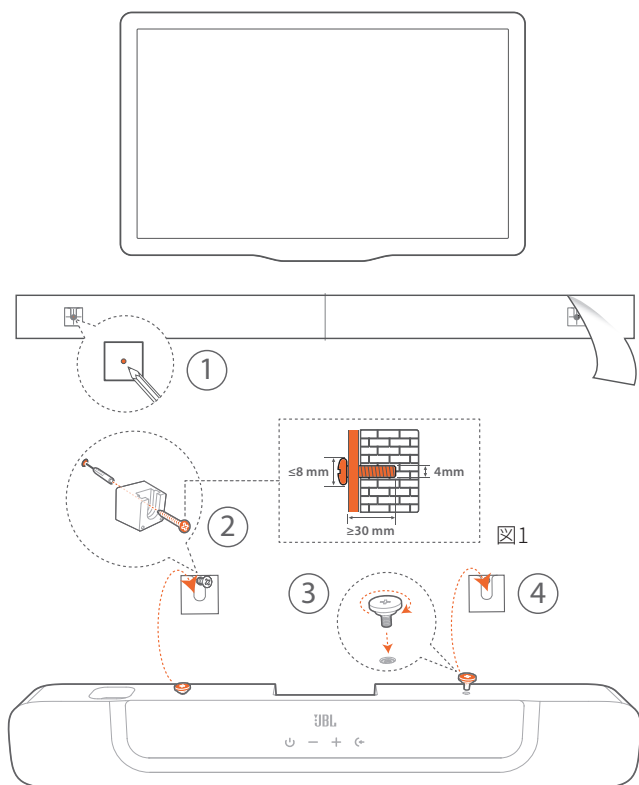
水平で安定した机の上サウンドバーを設置してください。



注:

- 電源コードを正しく電源に接続してください。
- サウンドバーの上には何も置かないでください。

4.2 スピーカーの壁への取り付け



1. 準備:

- a) TVから最低50mm離してセロハンテープで付属の壁取付け用型紙を貼り付けてください。
- b) ボールペンでねじ穴の位置に印を付けてください型紙を取り外します。
- c) 印を付けた壁に4mmの穴を開けてください。ねじのサイズについては図1をご覧ください。

2. 壁取り付け用金具を取り付けます。
3. サウンドバーの背面でねじを締めて固定します。
4. サウンドバーを取り付けます。

注:

- 壁がサウンドバーの重量に耐えられることをお確かめください。
- 垂直の壁以外には取り付けないでください。
- 高温、または高湿度状態での設置はおやめください。
- 壁に取り付ける前にサウンドバーと外部デバイス間のケーブルが全て正しく接続されていることをお確かめください。
- 壁への取り付け前にサウンドバーの電源が入っていないことをお確かめください。電源が入っていると、感電の原因となることがあります。

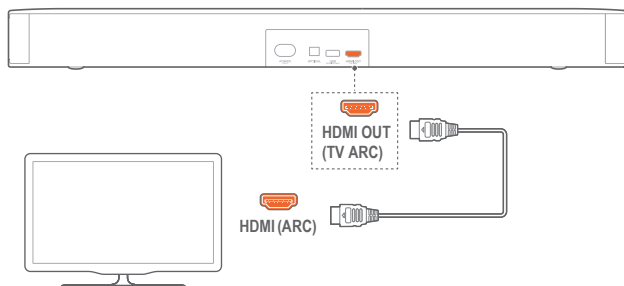
5 接続

5.1 TVへの接続

付属のHDMIケーブル、または光デジタル端子ケーブル（別売）を使ってサウンドバーをTVに接続してください。

付属のHDMIケーブルを使う

HDMI接続は、ケーブル1本の接続によりオーディオとビデオ両方を出力できます。HDMIに対応しているTVの場合は、この接続方法を推奨します。

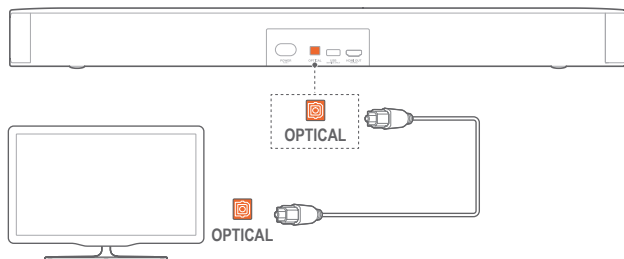


1. 付属のHDMIケーブルを使ってサウンドバーをTVに接続してください。
2. TVがHDMI-CECとHDMI ARCに対応しているかどうかをチェックしてください。詳細についてはTVの取扱説明書をご参照ください。

注:

- HDMI-CECデバイスへの完全対応は保証できません。
- TVのHDMI-CEC対応に問題がある場合は、TVのメーカーにご連絡ください。

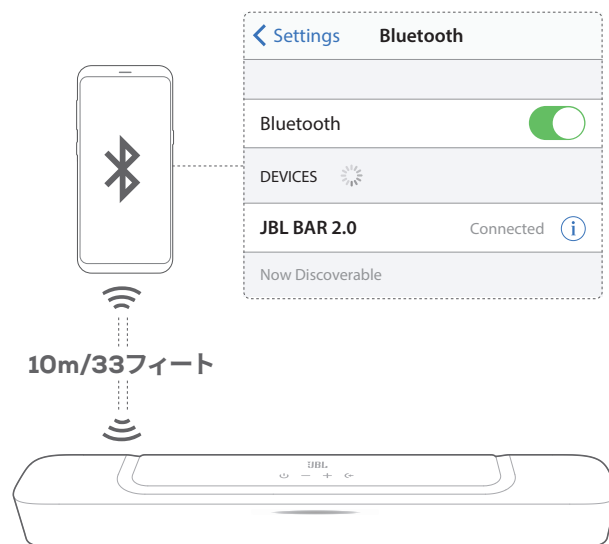
光デジタル端子ケーブルを使う



- 光デジタル端子ケーブル（別売）を使ってサウンドバーをTVに接続してください。

5.2 Bluetooth接続

Bluetoothを通して、スマートフォン、タブレット、ノートパソコンといったBluetooth対応デバイスサウンドバーを接続してください。



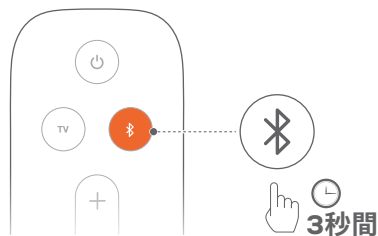
Bluetooth対応デバイスへの接続手順

1. 電源ボタンを押して電源を入れます（「再生」の章の「電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ」をご覧ください）。
2. Bluetoothソースを選択するにはサウンドバーの **G**、またはリモコンの **B** ボタンを押してください。
→ ペアリングの準備: ステータスインジケータが青色で点滅します。
3. Bluetooth対応デバイスの方では、Bluetoothが有効になり、3分以内に「JBL Bar 2.0」の検索を開始します。
→ 接続済み: ステータスインジケータが青色に点灯します。確認音が鳴ります。

以前ペアにしたデバイスを再接続するには:

本機は接続したBluetooth対応デバイスを保存しています。次の機会にBluetoothソースに切り替えた際、自動的に最後に接続したデバイスとの再接続を行います。

別のBluetooth対応デバイスに接続するには



1. Bluetoothソースでステータスインジケータが青色で点滅するまでサウンドバーの **G**、またはリモコンの **B** ボタンを押し続けます。
→ 以前ペアになったデバイスはサウンドバーから消去されます。
→ サウンドバーがBluetoothペアリングモードに入ります。ステータスインジケータが青色で点滅します。

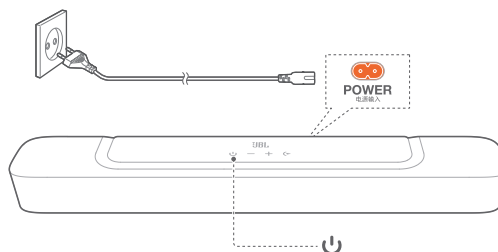
2. 「Bluetooth対応デバイスへの接続手順」のステップ3に従ってください。
 - デバイスがサウンドバーとペアになっていた場合は、まずデバイス上の「JBL Bar 2.0」のペアリングを解除してください。

注:

- Bluetooth接続はサウンドバーとBluetooth対応デバイスの距離が10mを超えている場合、接続が切れてしまいます。
- 電子機器があると、電波が干渉を受けることがあります。電子レンジ、ワイヤレスLANデバイスなどの電磁波を出す機器から離してお使いください。

6 再生

6.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ



電源オン

1. 付属の電源コードを使ってサウンドバーを電源に接続してください。
2. 電源ボタンを押して電源を入れます。

注:

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- サウンドバーの電源を入れる前に、他の接続（「接続」の章の「TVへの接続」をご覧ください）が全て完了していることをご確認ください。

オートスタンバイ

サウンドバーが10分以上作動しない場合、自動的にスタンバイモードに切り替わります。次の使用時にサウンドバーの電源を入れると、最後に選択されたソースに戻ります。

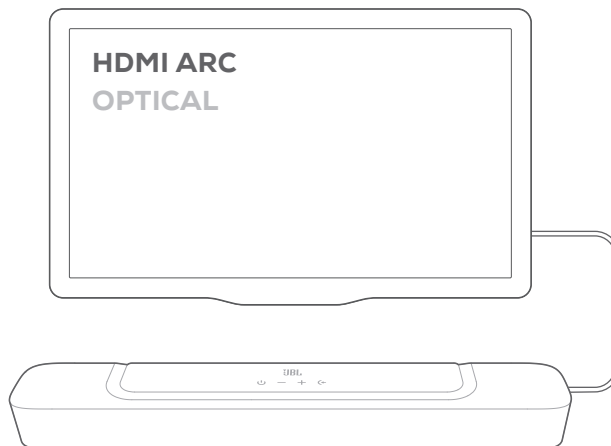
オートウェイクアップ

サウンドバーは下記の動作によって自動的にスタンバイモードから復帰します。

- サウンドバーがHDMI ARCでTVと接続されている場合は、TVの電源が入った時。
- サウンドバーが光デジタル端子ケーブルでTVと接続されている場合は、光デジタル端子ケーブルからのオーディオ信号を検知した時。

6.2 TVソースからの再生

サウンドバーを接続するとサウンドバースピーカーからTVオーディオを楽しむことができます。



1. TVの音声出力を外部スピーカーに切り替えてください。詳細についてはTVの取扱説明書をご参照ください。
2. サウンドバーがTVに正しく接続されていることをご確認ください（「接続」の章の「TVへの接続」をご覧ください）。
3. TVソースを選択するにはサウンドバーの**C**ボタン、またはリモコンのTVボタンを押してください。
 - ステータスインジケータが白点灯に変わります。
 - 工場出荷時の設定では、デフォルトでTVソースが選択されています。

注:

- サウンドバーがHDMIと光デジタル端子の両ケーブルでTVに接続されている場合、HDMIケーブルによる接続が優先されます。

6.2.1 TVリモコンの設定

TVとサウンドバーの両方をTVリモコンで操作するには、TVがHDMI-CECに対応しているかをチェックしてください。TVがHDMI-CECに対応していない場合、「TVリモコンラーニング」のステップに従ってください。

HDMI-CEC

TVがHDMI-CECに対応している場合は、TVの取扱説明書に記載されている機能を使用できます。TVリモコンでサウンドバー音量の+/-、ミュート/ミュート解除、電源オン/スタンバイ機能を操作できるのです。

TVリモコンラーニング

1. サウンドバーで、ステータスインジケータが白色で2回点滅するまで**C**と+ボタンを押し続けてください。
 - TVリモコンラーニングモードに入ります。
2. 15秒以内にサウンドバーとTVリモコンで以下のことを行ってください:
 - a) サウンドバー: サウンドバー上部のボタンのいずれか1つを押してください: +、-、+と-を同時に押す(ミュート/ミュート解除機能用)、**C**ボタン。
 - b) TVリモコン: a)の手順で押したボタンに対応させたいTVリモコンボタンを押してください。
 - サウンドバーでステータスインジケータが白色で2回点滅した場合、TVリモコンのボタンがサウンドバーボタンの機能を学習しています。
3. すべてのボタンを記憶させるまで、ステップ2を繰り返してください。
4. TVリモコンラーニングモードを終了するには、ステータスインジケータが白色で2回点滅するまでサウンドバーの**C**と+ボタンを押し続けてください。
 - サウンドバーは最後に選択されたソースに戻ります。

6.3 Bluetoothソースからの再生

Bluetoothを使って、Bluetooth対応デバイスからサウンドバーにオーディオをストリームします。

1. サウンドバーがBluetooth対応デバイスに正しく接続されていることをご確認ください（「接続」の章の「Bluetooth接続」をご覧ください）。
2. Bluetoothソースを選択するにはサウンドバーの**C**ボタン、またはリモコンの**B**ボタンを押してください。
3. Bluetooth対応デバイスでオーディオ再生を開始します。
4. サウンドバーまたはBluetooth対応デバイスの音量を調節します。

7 サウンドの設定

オーディオシンク

ビデオコンテンツの映像と音声にズレを感じる場合は、オーディオシンク機能により調整ができます。

1. リモコンで、**TV**ボタンを押し続けてください。
 - オーディオシンクの準備: ステータスインジケータが白色でスクロールします。
2. 5秒以内に、リモコンの+または-ボタンを押して音声の遅延を調節し、ビデオに合わせます。
 - ステータスインジケータがスクロールできる範囲の間で、調整が可能です。

スマートモード

本機では音響効果により深みのある音声でTV番組を楽しむ、スマートモードに設定されています。ニュースや天気予報といった音響効果を必要としない番組では、スタンダードモードに切り替えて音響効果を低減し、より音声が聞き取りやすく変更することもできます。スマートモード: 音響効果に深みを持たせるため、EQ設定とJBL Surround Soundを使用します。スタンダードモード: スタンダード音響効果には、プリセットEQ設定を使用します。

スマートモードを無効にするには、以下の手順に従ってください:

- リモコンで、ステータスインジケータが白色でスクロールするまで**B**ボタンを押し続けてください。+ボタンを押します。
 - スマートモードが無効になると、ステータスインジケータが白色で2回スクロールします。
 - 次の使用時にサウンドバーの電源を入れると、スマートモードは再度、自動的に有効になります。

8 工場出荷時の設定への復元

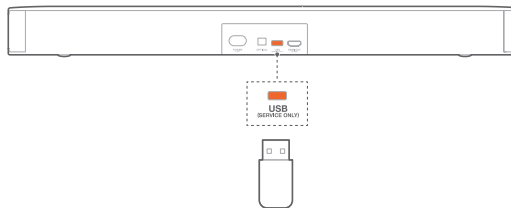
工場出荷時のデフォルト設定に復元することによりサウンドバーの個人的な設定は全て削除されます。

- サウンドバーで、**UとGボタン**を10秒以上押し続けてください。

9 ソフトウェアのアップデート

製品のパフォーマンスを最大限に引き出し、ご体感いただくために、JBLはサウンドバー用のソフトウェア・アップデートを提供することがあります。アップデートファイルのダウンロードに関する詳細については、www.jbl.comにアクセスしてください。

1. USBストレージデバイスのルートディレクトリにソフトウェア・アップデートファイルを保存したことをチェックしてくださいサウンドバーにUSBデバイスを接続してください。



2. ソフトウェア・アップデートモードに入るにはサウンドバーの**UとGボタン**を10秒以上押し続けてください。
 - ソフトウェア・アップデートが完了すると、確認音が鳴ります。
 - サウンドバーは最後に選択されたソースに戻ります。

注:

- サウンドバーの電源を入れたままで、ソフトウェア・アップデートを完了する前にUSBストレージデバイスを取り外さないようにします。

10 製品の仕様

一般仕様:

- 電源: 100~240 VAC、~ 50/60Hz
- 総合出力(最大@THD 1%) 80 W
- サウンドバーの出力電力(最大@THD 1%) 2x40W
- サウンドバーのトランスデューサー: 楕円形ドライバーx2
- サウンドバーのスタンバイ時消費電力: 0.5 W未満
- 動作保証温度: 0°C~45 °C

ビデオの仕様:

- HDMIビデオ出力 (オーディオ・リターン・チャンネル付き): 1

オーディオの仕様:

- 周波数特性: 70Hz~20KHz
- オーディオ入力: 光デジタル端子1、Bluetooth、USB (米国バージョンではUSB再生が可能です。その他のバージョンでは、USBは電力供給用のみです。)

USBの仕様:

- USBポート: タイプA
- USB定格: 5 V DC/0.5 A

ワイヤレス仕様:

- Bluetoothバージョン: 4.2
- Bluetoothプロファイル: A2DP V1.3、AVRCP V1.5
- Bluetooth周波数帯域: 2402MHz~2480MHz
- Bluetooth最大送信電力: 10dBm未満 (EIRP)
- 変調タイプ: GFSK、 $\pi/4$ DQPSK、8DPSK

寸法:

- サウンドバー寸法(幅x高さx奥行): 614x56x90mm
- サウンドバー重量: 1.6kg
- 外装寸法(幅x高さx奥行): 855×125×145mm
- 外装重量(総重量): 2.6 kg

11 トラブルシューティング

絶対に、ご自身で本製品を修理しようとししないでください。この製品を使用していて問題がある場合は、点検を要求する前に以下の点をチェックしてください。

システム

サウンドバーの電源が入っていません。

- 電源コードが電源とサウンドバーに差し込まれているかどうかチェックしてください。

ボタンを押してもサウンドバーが反応しません。

- サウンドバーを工場出荷時の設定へ復元してみてください (「工場出荷時の設定への復元」の章をご覧ください)。

サウンド

サウンドバーから音が出ません。

- サウンドバーがミュート状態でないことをご確認ください。
- サウンドバーのリモコンで正しいオーディオ入力ソースを選択してください。
- サウンドバーをTVまたは他のデバイスに正しく接続してください。
- サウンドバーを工場出荷時の設定に復元するには、サウンドバーのGボタンを10秒以上押し続けてください。

サウンドまたはエコーが歪んでいます

- TV音声をサウンドバーで再生している場合は、TV内蔵スピーカーが有効になっており同時に出力していないかをご確認ください。

オーディオとビデオが同期していません。

- オーディオシンク機能を利用して音声とビデオの同期を調整してください (「サウンド設定」の章の「オーディオシンク」をご覧ください)。

Bluetooth

サウンドバーにデバイスが接続できません。

- デバイスのBluetoothが有効になっているかどうかをチェックしてください。
- サウンドバーが別のBluetooth対応デバイスとペアになっていた場合は、Bluetoothをリセットしてください (「接続」の章の「Bluetooth接続」にある「別のデバイスに接続するには」をご覧ください)。
- Bluetooth対応デバイスがサウンドバーとペアになっていた場合デバイスのBluetooth設定からサウンドバーとの接続を一度解除し、再度デバイスとサウンドバーをペアリングしてください (「接続」の章の「Bluetooth接続」にある「別のデバイスに接続するには」をご覧ください)。

Bluetoothデバイスからのオーディオ品質が良くないです。

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。ソースデバイスをサウンドバーに近づけるか、ソースデバイスとサウンドバーの間に何も置かないようにしてください。

Bluetooth対応デバイスとの接続が、切れたりつながったりします。

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。ソースデバイスをサウンドバーに近づけるか、ソースデバイスとサウンドバーの間に何も置かないようにしてください。
- 一部のBluetooth対応デバイスでは、電力を節約するため、自動的にBluetooth接続を停止させることがありますデバイス側のBluetooth設定をご確認ください。

リモコン**リモコンが作動しません。**

- 電池の寿命が来ているかどうかをチェックしてください。寿命の場合は、新しい電池に取り替えてください。
- リモコンとメインユニットとの距離を縮めたり、角度を変えてみてください。

12 商標

The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by HARMAN International Industries, Incorporated is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.



The terms HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, HDMI trade dress and the HDMI Logos are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.



Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Dolby Audio, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

13 オープンソースのライセンスに関する 注意

本製品はGPLの許可を得たオープンソース・ソフトウェアを内蔵しています。参考までに、ソースコードと関連する構築指示は <http://www.jbl.com/opensource.html>でも入手可能です。以下までお気軽にお問い合わせください:

Harman Deutschland Gmb

HATT: オープンソース、Gregor Krapf-Gunther、Parkring 3
85748 ガルヒンク・バイ・ミュンヘン、ドイツ

または、製品のオープンソース・ソフトウェアに関する追加の質問がございましたら、OpenSourceSupport@Harman.comまで。



ハーマンインターナショナルインダ
ストリーズ (HARMAN International
Industries, Incorporated) 8500
Balboa Boulevard, Northridge, CA
91329 USA
www.jbl.com

© 2022 HARMAN International Industries, Incorporated.
(ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社)。
無断複写・転載を禁じます。

JBLは、ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ 株式会社(HARMAN International Industries, Incorporated)の、米国および/またはその他の国々の登録商標です。特徴、仕様および外観は、予告なしに変更されることがあります。